



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

新児童会の言葉 (4年生)

次年度の児童会を担う4年生の子供たちの思いを紹介します。次年度から、自分が抱いた大切な思いを実現できるように前に進んでいってほしいと思います。よろしくお願いします。

(副会長：4年：日高 祥乃さん)

気持ちのよいあいさつができ、安全にすごせる学校にします。そのために、自分から積極的に意見を言い、こまっている人がいたら声をかけていきます。クラスでは、いつも笑顔で友達とすごします。また、児童会の活動にも、全力で取り組んでいきます。

(副議長：4年：吉田 侑里亜さん)

みんなで協力し、だんけつし合える学校にします。そのために、一人一人に気を配り、こまっている子がいたら、自分から声をかけ、よりそっていきます。また、クラスでは、みんなが笑顔でいられるように、自分もひごろから笑顔でいることを心がけて生活していきます。

(書記：4年：中川 煌翔さん)

しっかりあいさつができ、笑顔あふれる学校にします。そのためには、自分からお手本となるあいさつを積極的に行います。また、いつも笑顔ですごすことを心がけ、入谷小をもりあげていきます。そして、高学年としてのじかくをもち、みんなに声をかけて、楽しい学校にしていきます。

(書記：4年：森 大智さん)

みんなが、元気で楽しく通える学校にします。そのために、ぼく自身が笑顔で元気に過ごすことを心がけます。また、みんな

が楽しめる学校にするために、周囲の友達に声をかけてもり上げていきます。そしてクラスでは、こまっている人がいたら、自分から声をかけていきます。

大切なものは目に見えない

3月3日は、ひな祭りです。ケニア出身のエミリー先生との話の中で、ひな祭りのことを話している際、ケニアのお祭りについて聴くと、「イースターとクリスマス」という答えが返ってきました。時期外れですが、クリスマスという言葉である話を思い出しました。サンタクロースはいないという友達の言葉は本当かという質問を8歳の少女が新聞社に問い合わせた際、論説委員の方が次のように答えたそうです。

「その友達は間違っているよ。きっと見たことしか信じられないんだろうね。実はサンタはいるよ。愛とか思いやりとか労りとかがあるようにサンタもいるんだ。そういうものがあふれているから、人は癒されるんであって、サンタがいなかったらさみしい世界になってしまうよ。」

ウクライナへのロシア軍の侵攻のニュースが毎日取り上げられ、ウクライナの人達が悲しみにくれる映像が流れてきます。そのような中、ウクライナの人達のために、遠い国である日本の中でも小さな犠牲を払おうという動きがありました。小さな犠牲は目に見えませんが、大きな繋がりを感じます。「大切なものは目に見えないよ。心の目で見ないとね。」サンテグジュペリの星の王子さまの言葉です。日々の生活の中でサンタクロース見出していきたいと思います。